

外国語科英語学習指導案

学 級： 2 年 1 組 3 7 人
場 所： 2 年 1 組 教 室
指 導 者： 教 諭 前 田 美 香
ALT Brittany Brockman

1 単元名 NEW HORIZON English Course 2, Unit 7 My Favorite Movie

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、1982年スティーブン・スピルバーグ監督によって制作され、日本でも大ヒットとなった「E.T.」のあらすじを一郎が語っている場面を題材としている。映画鑑賞を趣味の一つにあげる生徒も多く、中学生にとって身近な話題である。一郎の語る「E.T.」のあらすじを参考に、自分の好きな映画について英語で紹介できるようになれば、実際のコミュニケーションの場面でも活用ができる意義のある題材である。

言語材料としては、「比較表現」が扱われている。「AとBは同じくらい～だ」という同格表現「as 原級 as」や、「AはBより～だ」という「比較級+than」、「Aが最も～だ」という「the 最上級+in(of)」の形の3つが主に挙げられる。この単元で扱う形容詞や副詞に限らず、これまで学習した形容詞や副詞も振り返らせながら確実に身に付けさせたい。「比較表現」を用いることで、人やものについてより多くの説明が可能になることから、生徒が身近な人や身の回りのものについて詳しく説明する上で適した単元と言える。

以上のことから、本単元の題材や言語材料から英語で自分の考えや意見を表現することに興味をもっている生徒たちにとって、コミュニケーションへの興味・関心を高めるのに適した題材であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、英語に苦手意識をもっている生徒が多いが、互いに助け合いながら学習できる雰囲気がある。「話すこと」及び「聞くこと」に対する生徒の意欲の向上が見られるが、「読むこと」や「書くこと」に課題を抱えている生徒が多い。また、一人一人の知識や技能には個人差があり、英語による表現活動に対して苦手意識をもつ生徒もいる。そのため、表現活動の際には生徒一人一人の実態に応じた指導を行いながら、ペア活動やグループ活動等を積極的に取り入れ、互いに高め合えるような学習形態を工夫するようにしている。

全国学力標準検査の中領域分析によると、「長文の大切な部分を読み取ること」、「適切な表現を用いて書くこと」において、正答率が全国平均を下回っており、まとまりのある英文を読んで理解すること、まとまりのある文を適切な語句や表現を用いて書くことを苦手としていることが分かる。このため、自分の考えを表現する上で基盤となる語彙・文構造の定着を図る手立てとして、前年度までに扱った文法の中から使用頻度の高い事項を選び、ペアで練習する帯活動Q and Aの活動などを行ってきた。これまで学んだことを繰り返し活用する場を設けることで、学んだ語彙や文構造を定着させる取組を継続している。本単元の学習においては、帯活動等を通して、一郎のあらすじ紹介を参考に、自分の考えや意見を述べるために必要となる基礎的・基本的な表現の定着を図らせたい。

(3) 指導観

一郎が話す「E.T.」のあらすじを参考に、自分の好きな映画について自分の言葉で述べるができるようになるための学習を展開したい。そのために、次の2点を指導の重点とした。第1に教科書本文で読んで理解したことを参考にして自分の考えを書いたり、話したりする活動の設定である。具体的には、映画のあらすじを相手に伝える際、教科書本文の英文を参考にして表現させる活動である。第2に、自分の意見を述べるために必要な基礎的・基本的な語彙や表現方法を身に付けさせる活動の設定である。具体的には、戸惑いなく自分の伝えたいことを伝えることができるようにするためにSpeech Navigator(SN)を設定して、単元を通して段階的に英文を書く活動を行う。既習単元も含めた計画的な指導を行う中で、学習形態を工夫しな

がら、自分の意見を英語で適切に表現する練習を重ね、自分の意見を整理し英語で分かりやすく表現する方法を学ばせたい。

単元全体の指導の流れとしては、次のように考える。第1時から第5時までは、新出の文構造や自分の意見を表明する表現形式を定着させるために、教科書を活用して言語の使用場面と言語の働きに注目した表現活動を行わせる。第6時と第7時では、第1時から第5時までの学習を基に、身近な話題について表現する表現活動を行わせる。

言語活動においては、ICTを効果的に活用し、ペアやグループでの活動を取り入れながら、自分の学習状況について振り返る場面を設定する。このことにより、生徒同士が見通しをもってお互いに関わり合いながら意見交換等を行うことができる。

3 単元の指導目標

- 間違いを恐れず、積極的に自分の考えや気持ちなどを話したり書いたりしようとする態度を育てる。
- 自分の好きな映画について自分の考えを表現できるようにする。
- 自分の好きな映画についてあらすじを述べたり、その理由を示したりできるよう内容を理解できるようにする。
- 比較表現の3つの用法を身に付けさせるとともに、自分の考えを述べる表現形式について確認させる。

4 単元の指導計画

(1) 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 間違いを恐れず、意欲的に自分の知っている情報や考え等を話したり、書いたりしている。 ② 教科書本文やプリントの例文等を用いて表現しようとしている。	① 自分の好きな映画について正しい情報を伝えることができる。 ② 伝えたい内容を整理し、まとまりのある英文を書くことができる。	① 教科書の本文を読んで、その内容を正しく読み取ることができる。	① 形容詞、副詞の変化（原級-比較級-最上級）や比較表現の3つの用法を正しく理解している。 ② 自分の考えを効果的に述べる形式を理解している。
吉田南中学校 CAN-DO リストより			
/	S3 自分の好きなもの・ことについて理由を含めて紹介することができる。 W3 自分の好きなもの・ことについて理由を含めて書くことができる。	R2 簡単な説明文を理解することができる L3 ゆっくり（または繰り返して）話されれば興味・関心のある話題に関する話を理解することができる。	/

(2) 単元の指導と評価の計画

[SN]Speech Navigator [EYO] Express Your Opinion

時間	指導内容	評価規準
1	<p>【目標】 課全体の内容をつかもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 帯活動Ⅱ [SN] ① ・ 課全体の新出語句の導入 ・ 課全体の概要把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>My favorite story is Momotaro. It's an interesting story. I like it because Momotaro is very strong. I think this is the most exciting story in the world.</p> </div>	エー②

時間	指導内容	評価規準
2	<p>【目標】 アニメキャラクターを紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 帯活動Ⅱ SN② ・ 課全体の新出語句の復習 ・ 比較級を用いた表現活動 <p>My favorite story is Momotaro. It's an interesting story. I like it because Momotaro is very strong. I think this is the most exciting story in the world.</p>	エー①
3	<p>【目標】 自然界のNo.1を紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 帯活動Ⅱ SN③ ・ 課全体の新出語句の復習 ・ 最上級を用いた表現活動 <p>My favorite story is Kaguya-hime. It's a moving story. She is from the moon. I like her because she is very beautiful.</p>	エー①
4	<p>【目標】 教科書の内容から分かったことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 帯活動Ⅱ SN④ ・ 課全体の新出語句の復習 ・ 内容理解・音読 <p>My favorite story is Urashima Taro. It's an exciting story. He helps a turtle. I envy him because he can go to the Ryugu-jyo.</p>	ウー① エー②
5	<p>【目標】 ETについて分かったことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 帯活動Ⅱ SN⑤ ・ 課全体の新出語句の復習 ・ 内容理解・音読 <p>My favorite story is Harry Potter. It's an amazing story. He is a great wizard. I envy him because he can fly with his broom.</p>	ウー① エー②
6 (本時)	<p>【目標】 EYO Tell me more! Brittany先生を映画に誘おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 帯活動Ⅱ SN⑥ ・ 読み取った内容を用いた自己表現 	アー①, ② イー①, ② エー②
7	<p>【目標】 学習したことを振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動Ⅰ Q and A ・ 帯活動Ⅱ SN⑦ ・ 新出語句, 重要表現の確認・復習 ・ EYOで書いた作文の確認 ・ 課全体のまとめテスト 	イー② エー②

※ 後日 ALT とのインタビューテストにて EYO で書いた作文を発表。

5 既習事項との関連を踏まえた「判断基準」

本校では、『Let's Take Action!』や『Agony Students』などの読み手を意識した表現活動を総合的な表現活動において設定してきた。今年度は、外国語入門期の生徒の表現活動として『Tell Me More!』を新たに設定し、自分の知っている情報や考えなどを ALT に伝える場面を設定した。自分の身に付けた表現方法を活用し、意欲を持って表現活動に取り組めるように、これまでの学習を振り返りながら表現活動に取り組ませていきたい。

既習の題材名 「NEW HORIZON English Course 2, Unit 5 A New Language Service」	本時の題材名 「NEW HORIZON English Course 2, Unit 7 My Favorite Movie」
評価規準	
教科書本文等から読み取った自分の意見を表現する表現方法を参考に、自分の好きな物について理由を含めて書くことができる。	教科書本文等から読み取った映画のあらすじを紹介する表現を参考に、「おすすめしたい映画」について自分の考えを含めて書くことができる。

評価の場面	
ALT の依頼に答えるスピーチを書く場面	ALT の依頼に答えるスピーチを書く場面
評価の対象	
自分の知っている知識を基にした自分の好きな物紹介の記述	自分の知っている知識を基にしたおすすめ映画を紹介するスピーチの原稿
判断の要素	
ア トピックについての記述 イ 紹介する表現の活用 ウ 英文の量	ア トピックについての記述 イ 紹介する表現の活用 ウ 英文の量
判断基準B	
ア 自分の好きな物を述べている。 イ なぜそれが好きなか理由を含めて述べている。 ウ 3文以上の英文で述べている。	ア 自分が紹介したいおすすめ映画を述べている。 イ 映画のあらすじや好きな理由を述べている。 ウ 4文以上の英文で述べている。
【予想される生徒の表現例】 ア <u>My favorite country is New Zealand</u> イ <u>because New Zealand is a beautiful country.</u> If I can go there, I will go to a zoo. I want to see kiwis.	【予想される生徒の表現例】 ア <u>My favorite movie is Frozen.</u> イ <u>It's a moving story. I like the elder sister Elsa. She has ice magic. I think this is the most perfect movie in the world.</u> <u>Let's go see the sequel.</u> * ア, イは判断基準Bを表す。
判断規準A	
(判断規準Bに加えて) ○ 英文が充実し、自分が好きなものについて更に詳しい情報を述べている。 ○ 既習事項を活用し、多種にわたる言語材料を使用している。 ○ その他、B状況以上にあると認められるもの。	(判断規準Bに加えて) ○ 英文が充実し、自分がおすすめしたい映画について、相手の好みも考慮しながら、更に詳しい情報を述べている。 ○ 既習事項を活用し、多種にわたる言語材料を使用している。 ○ その他、B状況以上にあると認められるもの。

6 本時の実際 (6/7)

(1) 題材名 Unit 7 My Favorite Movie

(2) 学習目標

- 間違ふことを恐れず、自分の考えや気持ちなどを積極的に書こうとする。
- 教科書本文の表現を参考に、ALT の依頼に対する自分の考えを適切な語彙や表現を用いて4文程度で表現することができる。

(3) 既習事項との関連を踏まえた指導の工夫

ア 知識・技能の活用を図る学習指導

(7) 既習事項との関連を踏まえた判断基準Bに到達させる学習課題の設定

聞いたり、読んだりして理解した内容を踏まえ、自分の体験や知識を基に表現させる学習課題を設定する。

(4) 習得した知識・技能を活用させるための帯活動の工夫

サンプルスピーチを暗唱する活動 (Speech Navigator) を通して、表現に必要な語彙・表現形式を身に付けさせる指導を行う。

イ 「判断基準」に基づく補充・深化指導

(7) 習得した知識・技能を振り返らせる資料の提示

サンプルスピーチを提示することにより、自分の書きたいものにより近い表現を選択させる。

(1) 新たな視点を踏まえた資料の提示

既習事項を用いて、様々な表現をしている生徒には、パンフレット等の参考資料の表現も提示し、更に自分の思いを表現する工夫に取り組みさせる。

(4) 授業の展開

発問

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	既習事項との関連を踏まえた指導の工夫
導入	10分	一斉 ペア 一斉	1 あいさつをする。 2 帯活動 Q and A に取り組む。 3 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい雰囲気授業を始められるようにする。 ・ ペアで帯活動 Q and A に取り組ませる。 ・ 前時の学習内容を踏まえながら、目標を提示する。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 目標： EYO Tell me More! Brittany 先生を映画に誘おう。 </div>					
展開	35分	一斉 一斉 グループ	4 聞き取りの視点を示しながら、本時の Topic を聞き取る。 5 Topic に関する意見の表現方法を確認する。 6 ALT の依頼に対するスピーチの原稿を完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ キーワードを確認させ、ALT のスピーチを聞かせる。 ・ Speech Navigator を用いて既習の紹介文を確認する。 ・ 映画を紹介する文章構成を確認する。 ・ 映画を紹介するときにはどんな表現が使えるかを確認する。 	アー(7) 聞いたり、読んだりした内容を踏まえ、自分の体験や知識を基に表現させる学習課題を設定する。 アー(1) 表現に必要な語彙・表現形式を身に付けさせる。 イー(7) 【補充指導】 サンプルスピーチを提示することにより、自分の書きたいものにより近い表現を選択させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【モデル文】</p> <p>I'm going to tell you about my favorite movie. My favorite movie is Frozen. It's a moving story. I like the elder sister Elsa. She has ice magic. I think this is the most perfect movie in the world. Let's go see the sequel.</p> </div>					

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	既習事項との関連を踏まえた指導の工夫
展開		グループ	7 グループ内で一人ずつ発表しお互いのスピーチを聞き合う。	<ul style="list-style-type: none"> 互いのスピーチの良い点を学び合いながら聞かせるように指示をする。 	イー(1) 【深化指導】 参考資料の表現も提示し、更に自分の思いを表現する工夫に取り組みさせる。
終末	5分	一斉 一斉 一斉	8 本時の学習内容を確認する。 9 次時の学習内容を知る。 10 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> 本時で学習したことを確認する。 さらに自分の作品を良いものにできるよう、意欲を高める。 元気良くあいさつをさせる。 	